

関東地域版

消費者とつくるモデルハウス

東京・新木場で建設中

中島工務店

中島工務店(岐阜県中津川市、中島紀子社長)は東京・新木場でモデルハウス「TOKYO STYLE」の建設を進めている。同社の地元の子産産材を構造、内装にふんだんに用いるほか自然素材採用を追求している。つみき設計施工社とともに「みんなで作るモデルハウス」として一般の人を募り、一部工種に携わってもらおうというユニークなワークショップも複数企画している。

新木場駅すぐの好立地にモデルハウスを建てる。木材をはじめ珪藻土の内装仕上げ、和紙クロス、石など天然素材にこだわった。最大の特徴はモデルハウス



本格的に作業に取り組む

のだ。このプロジェクトに携わる中島工務店の中島創造氏は「家へ

の愛着が増すことにつながる。この取り組みを弾みに今後は一般の物件にも取り入れていきたい」と話す。

モデルハウス2階の30mm厚の珪藻土塗り、計35平方メートルの珪藻土塗りの左官などのワークショップを実施した。

また10月には同社も所属する日本フローリング工業会(久津輪光一会長)の会員らと「木づかい協力業者による木材利用の促進事業」を通じて組織された協議会とともに、首都圏の住まい手を招く「TOKYO STYLE」も行われた。

学生対象に2×4見学会

ウイング白井工場訪れる

日本ツーバイフォー建築協会は、学生を対象とした2×4コンポネット工場、2×4建築現場の見学会を実施した。建築科の学生に工場と建築現場を見学してもらうことで、2×4工法に対する理解を深めてもらうのが狙い。

ウイングの白井工場(千葉県白井市)を見学したのは昭和女子大学の学生ら。最大需要地である東京の消費者を招くことで需要深掘を図る。同会はワークショップにも協力している。中島氏は「協議会にも協力している。」

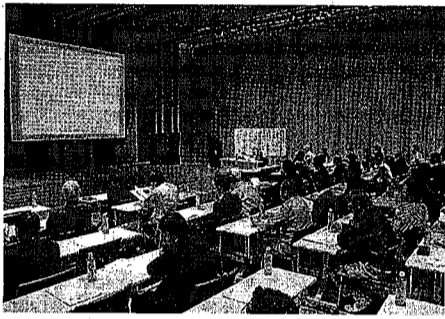
東京で標準仕様書の講習会

メンテナンス項目を強化

日本フローリング工業会

日本フローリング工業会(久津輪光一会長)はこのほどフローリング協会(外瀬泰宏会長)との共催で2015年版フローリング張り標準仕様書講習会を東京・新木場の木材会館で開き、約1300人が出席した。

仕様書はJAS改正に対応したフローリング施工のポイントを網羅したもの。10年版以来5年ぶりの改訂に当たる今回は特に、近年話題となっているメンテナンス項目を充実させた。



改訂内容の要点解説を行った

回目を数えるが、とりわけメンテナンス面の改訂を図った。経時のトラブルはないか、不具合はないかなど張った後どうなるかを考えないといけない。本書は国交省、林野庁、各建築関係団体、ゼネコン、地方公共団体などが使われるので、技術的な知識を詰めておく必要がある。業界が厳しいからこそ現場品質の安全が一層重要となるが、そのためにもフローリング張りの標準化が必要だ。フローリング張り標準仕様書は標準化を果たして安心・安全な床を提示してほしいとの目標を持って作っている。

講習会は日本フローリング工業会技術委員による解説に加え、木材・合板博物館の岡野健館長による「板材の物理学」、国土交通省建設市場整備課労働資材対策室の荒井課長補佐による「建設業における法定福利費問題について」の講演を企画。床施工に携わる事業者にとって関心の高い内容を盛り込んだ。



「住宅に対して新しい見方ができる」と手応えを得た学生も

白井工場は敷地面積約1万坪。コンポネット材の月間出荷量は4500~5000棟分で、単独工場の出荷量では国内一の規模。安全性にも配慮しており、中央労働災害防止協会の「中小企業無災害記録証授与制度」で製造業ではまれな無災害記録10500日を達成し、1600日に向けて取り組んでいる。

学生からは「2×4工法について知識がなかったが、色々学んだことで、これからは住宅に対して新しい見方ができると思う」などの感想があった。

江戸城天守の全容明らかに

NPO法人江戸城天守を再建する会(東京都、小竹直隆理事)は3日、復元調査報告書「三浦教授は都立中央図書館所蔵の図面に記載された勾配から天守の高さを計算した」という。江戸城天守閣の外観は5重、内部は地上5階、地下1階の構造だったことが分かった。また、石垣の台座を含め屋根までの高さは58・63と19階建てマンションに相当する。外観は、銅板張りの壁、銅の瓦で真っ黒だった

ことや、内部は強度と耐久性が優れている検材を利用していただけにも明らかとなった。三浦教授は「江戸城天守閣の再建が可能となれば日本の技術力を世界に発信できる」と話した。

また、共立女子大学城天守閣の再建が実現すれば国民の財産となるだろう。そのためには企業と行政が連携を図ること。2020年を目標に我々の活動を積極的に各業界に広めていく」と意気込みを語った。

多くの来場者が関心を持った

北浜 毎週木曜開市 電 048(798)0453

下館市場 毎週金曜開市 電 0296(30)7001

大栄浜 毎週水曜開市 電 0476(73)7611

京葉市場 毎週木曜開市 電 047(442)6011

丸宇木材市売株式会社 本社 電話 03(6904)8141

丸宇住宅資材株式会社 千葉営業所 電話 043(301)8101 成田営業所 電話 0476(73)7825

取扱品目 製材品・原木・間伐材

定例市日 毎週木曜日

“国産材生産振興の一翼を担う、”

千葉県木材市場協同組合

木と住の情報館「モクイチ」chiba@mokuichi.or.jp

代表理事 吉岡 實

〒283-0823 千葉県東金市山田800 TEL0475-55-6161(代) FAX0475-55-6171 URL http://www.mokuichi.or.jp/